

第3回飯南町保育所あり方検討委員会

— 令和8年3月18日(水)開催 —

飯南町の今後の保育環境を検討する「飯南町保育所あり方検討委員会」の第3回目を開催しました。検討委員会での協議内容に関し、関係の皆様にお知らせさせていただきます。委員会の協議内容や検討の際の基礎資料などの詳しくは町ホームページでも公開していますので、御覧ください。



町ホームページ

○ 経緯と目的

令和7年6月に町立保育所を受託運営する飯南町社会福祉協議会から、保育士確保が困難になったこと、児童数の減少、保育施設の老朽化等の理由から保育所設置数の見直しを含めた協議の場の設置を求める要望書が提出されました。本町では計15名の委員で構成する「保育所あり方検討委員会」を設置し、飯南町にふさわしい保育環境について町へ提言いただくための協議を開始しています。

検討委員会で出た主な意見

第2回目までの委員会では「保育士不足が安全面に与える影響」「児童の減少」「保育所の老朽化や災害への懸念」といった飯南町の保育所における課題等を協議してきました。第3回目では、これまでの協議をふまえ、具体的な提言について様々な意見が出ました。

○ 保育所の設置数について

- ・保護者、地域、保育所といった様々な視点での意見はあると思うが、何を中心に考えるか、保育士不足という状況から子どもの安全を考えると、現実的にどうやったら保育所を運営出来るかということを考えないといけない。
- ・喫緊の課題である保育士不足を解消し、今後の定年に伴う職員の退職等を考慮すると設置数の見直しを早急に進める必要がある。
- ・設置数を見直す場合、保護者への説明や統合する保育所の児童の交流を進める必要もあり、早めに動き出す必要がある。

○ その他の意見

- ・土曜に実施する保育を1箇所に集約することは出来ないか。→「保育士不足の状況から、既に令和8年度から1箇所に集約することで進めている」(事務局からの回答)
- ・保育所は地域づくりにも関わる重大なことなので、保護者や地域の方と決めることが必要である。例えば、公民館で保育士と地域住民で体制を構築し、保育を運用するという方法もあるのではないかな。

◎ 今後の「保育所のあり方」について

飯南町保育所あり方検討委員会では「保育所のあり方」に関する様々な課題に対して協議しています。今後、委員会ではそういった意見を整理し、町へ提言書を提出します。町はその提言書の内容を参考に、町の考えも踏まえ、実効性を持った保育所に関する計画を策定していきます。なお、策定した計画は、保護者や地域の方へ説明していく予定としています。